

アバドやラトルと共にベルリン・フィルを率いた音が、“しらかわ”で鳴り響く

SHIRAKAWA HALL 〈しらかわホール 再開館記念公演〉

元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1コンサートマスター

# ガイ・ブラウンシュタイン

## ヴァイオリン・リサイタル

Guy Braunstein  
Violin Recital



兼重 稔宏

ピアノ 兼重 稔宏

2026

**7.5** **14:00**開演  
【日】(13:15開場)

会場 **しらかわホール**

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」5番出口より徒歩4分  
Sunday, 5 July, 2026, SHIRAKAWA HALL

入場料<全席指定・税込>

S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円  
ファンボックス席(ボックス席・定員6名) 30,000円

\*U25(25歳以下、S席・A席・B席のみ) 2,500円

\*ファンボックス席、車いす席はしらかわホールteketでのみ取扱い

※未就学児のご入場はお断りいたします。 ※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。 ※公演中止を除き、チケットの払い戻し・変更等はできません。

主催:アーティフィニティ 共催:しらかわホール(株式会社SKI) 運営協力:コンサート・ウィズ  
お問合せ:アーティフィニティ 090-5865-6101 info@artiffinity.com

### PROGRAM

シューベルト

ヴァイオリン・ソナタ イ長調 D 574 Op.162

F.Schubert: Violin Sonata in A major op.posth.162 D574

プロコフィエフ

ヴァイオリン・ソナタ第2番 ニ長調 Op.94bis

S.Prokofiev: Violin Sonata No.2 in D major op.94 bis

武満 徹

妖精の距離

T.Takemitsu: Distance de Fée

ブラームス

ヴァイオリン・ソナタ第3番 ニ短調 Op.108

J.Brahms: Violin Sonata No.3 in D minor op.108

チケット発売日 **2026.5.1(金) 10:00~**

〈プレイガイド〉

- ・しらかわホールチケットteket(電子チケットのみ)
- ・アイ・チケット 0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket>
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:325-629)
- ・愛知芸術文化センタープレイガイド



## ついに待望の日本初リサイタル！

20代でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターに就任し、クラウディオ・アバドやサー・サイモン・ラトルの音楽づくりを支えたガイ・ブラウンシュタイン。現在はソリストとして世界各地で活躍するほか、サー・アンドラーシュ・シフやマルタ・アルゲリッチらとの室内楽、さらに指揮者・作曲家・編曲家としても幅広く活動している。本公演では、日欧を舞台に活動の幅を広げるピアニスト 兼重稔宏と共演。現代における“真の音楽家”の理想像を体現し、ますます注目を集めるブラウンシュタインの日本初リサイタルを、どうぞお聴き逃しなく。

### ヴァイオリン **ガイ・ブラウンシュタイン** Guy Braunstein, Violin

卓越した技巧、抑制、そして創造性の稀有な融合——それこそが、ヴァイオリニスト、指揮者、作曲家であるガイ・ブラウンシュタインの本質である。彼は音楽によって聴衆を魅了するだけでなく、同時に思考を促し、挑発する、稀有な音楽家の一人である。

2000年、28歳でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスターに就任。以来10年以上にわたり、クラウディオ・アバド、サー・サイモン・ラトルのもとでオーケストラの中核を担い、音楽づくりに大きく貢献した。

ソリストとして、アバド、ズーピン・メータ、ダニエル・バレンボイム、アンドリス・ネルソンス、セミヨン・ビシュコフらの指揮のもと、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ボストン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団などと共演を重ねている。室内楽奏者としても、アンドラーシュ・シフ、内田光子、マルタ・アルゲリッチ、イェフム・ブロンフマン、マウリツィオ・ポリリーニらと共演を重ね、厚い信頼を得ている。

近年は指揮者としても国際的評価を確立し、ハンブルク交響楽団のアーティスト・イン・レジデンスを務めるほか、各国の主要オーケストラに客演している。また、ラドゥルプーやダニエル・バレンボイムといった巨匠たちが、その指揮のもとソリストを務めている。

「ミッシェル・エルマンやアイザック・スターンの伝統に連なる」(英『テレグラフ』紙)と評される一方、彼にとって音楽は単なる歴史の継承にとどまらない。絶え間ない刷新と予測不能な展開の中に生命を見出し、演奏活動と並行して作曲・編曲にも精力的に取り組んでいる。

7歳でヴァイオリンを始め、ハイム・タウブに師事。その後ニューヨークに渡り、グレン・ディクテロウ、ピンカス・ズーカーマン、アイザック・スターンのもとで研鑽を積んだ。現在は1679年製フランチェスコ・ルッジェーリを使用している。

### ピアノ **兼重 稔宏** Toshihiro Kaneshige, Piano

ソリスト、室内楽奏者、歌曲伴奏者として、ポローニャ音楽祭、ブダペストの春音楽祭、メクレンブルク・フォアポンメルン音楽祭、ドレスデン国立歌劇場475周年記念演奏会、TOPPANホール・ニューイヤーコンサート、東京・春・音楽祭などの音楽祭・演奏会に出演。ライブツィヒ・ゲヴァントハウス大ホール(ドイツ)、ゼンパー・オーバー(ドイツ)、ヴィガドー(ハンガリー)などの主要なコンサートホールにて演奏を行うなど、日欧にて精力的に活動を行っている。

2022年10月にCD「ディアベリ変奏曲」をVIRTUS CLASSICSよりリリースし、メディアより高い評価を得る。

三重県生まれ。東京とライブツィヒにて学び、これまでに渡辺健二、上野真、ゲラルド・ファウトらに師事。エリザベト・レオンスカヤ、メナヘム・プレスラーからも音楽的助言を受ける。ゼフィルス・ピアノ五重奏団メンバー。

©Boaz Arad



©藤本史昭

## しらかわホール

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15  
contact@shirakawahall.jp

 SHIRAKAWA  
HALL

